平成17年度

日南市内遺跡発掘調査概報

2006.3 宮崎県日南市教育委員会

平成17年度

日南市内遺跡発掘調査概報

- 1. 願成就寺納骨堂建設予定地(談義所遺跡)
- 2. ダイナム宮崎日南店建設予定地
- 3. サンキョウ紙工株式会社倉庫建設予定地(古奥遺跡)
- 4. MRTラジオ局及びメガソーラー建設予定地(八幡原遺跡外)
- 5. 鵜戸山別当墓地周辺調査



2006.3

宮崎県日南市教育委員会

巻頭カラー



〔鵜戸地区航空写真〕

この報告書には、日南市教育委員会において平成17年度に実施した埋蔵文化財の有無を確認するための発掘 調査の概要を記載しております。

本市教育委員会において、埋蔵文化財保護の立場から、各種開発行為に先立ち試掘調査を実施することができたことは、非常に有意義なことだと思われます。また、今後市内で行われるであろう多くの各種開発行為に伴う未確認の埋蔵文化財についても、開発側等との充分な情報交換や協議などをすすめ、その保護に資するよう努力を重ねていきたいと思います。

最後になりましたが、調査を実施するにあたり、埋蔵文化財の保護に格別のご配慮とご理解を賜りました各開発関係者各位並びに地元の方々に厚くお礼を申し上げます。また、調査にあたりまして、ご指導・ご助言をくださいました宮崎県教育庁文化財課や現地調査及び整理作業にご協力いただいた作業員の方々にも重ねてお礼を申し上げます。

平成18年3月

日南市教育長 安 野 喜 宏

1

例 言

- 1. 本書は、平成17年度に日南市教育委員会が各種開発行為に先立ち埋蔵文化財の有無を確認するために実施した発掘調査の概要である。
- 2. 掲載した調査地は、1. 願成就寺納骨堂建設予定地(日南市飫肥一丁目8401-イ-2)
 - 2. ダイナム宮崎日南店建設予定地(日南市大字平野字元屋敷2686番外)
 - 3. サンキョウ紙工株式会社倉庫建設予定地(日南市大字梅ヶ浜5828-24)
 - 4. MRTラジオ局及びメガソーラー建設予定地(日南市大字楠原)
 - 5. 鵜戸山別当墓地周辺調査(日南市大字宮浦3232)
- 3. 調査主体・・・日南市教育委員会

教 育 長 安野 喜宏

社会教育課長 藤原 英一

補佐兼文化係長 岡本 武憲

庶務担当・・・・・教育総務課主事 辻原 直美

調査担当・・・・・主 事 鬼束 紘樹

調査作業員・・・・・・・・・・・岩永典良、杉元早苗、谷口キヨ子、金丸恵美子、川越数馬、

中村吉春、中村映子、藤川泰憲、藤下義彦

整理作業員・・・・・・・・・外山 律子

- 4. 現地調査は、鬼束が行った。
- 5. 実測及びトレースは、鬼束、岡本が行った。
- 6. 本書の編集執筆は、岡本が行った。
- 7. 各トレンチについての方位は磁北、レベルは、海抜高にて示した。

本文目次

1. 願反	及 現代 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	建設予定地 ・・・・・	型(談義か ・・・・	「遺跡)																			1
- 計	周査の経緯・																						1
# P	周査の結果・		• • • •																•	• (•	1
2. ダイ	イナム宮崎日	南店建設予	定地																				
在	位置と環境・				• •		• •	• •	• •				•		•		•	. •	•		•	• ;	3
ī	周査の経緯・	• • • • •		• • •	• •		• •	• •	• •	• •			•	• •	•	• •	•	•	•		•	• ;	3
司	周査の結果・	tat. N. A. at. A.	• • • •	• • •	· • •	• • •	• •	• •	• •	• •			•	• •	•	• •	•	•	•	• •	•	• ;	3
3. サン	ンキョウ紙工が 位置と環境・ 関査の経緯・ 関査の結果・ RTラジオ局	株式会社怎	了庫建設予	定地(古奥道	遺跡)																,	_
1	M直と塚境・ M本の奴婦			• • •	• • •	• • •	• •	• •	• •	• •	• •	• •	•	• •	•	• •	•		•	• •	•	• ′	7
司	間盆の栓桿・ B本の丝甲・					• • • • • •		• • • •	• •				•	• •	•		•		•	•	•	•	7
4 M F	M耳の和木・ R T ラジオ目	ひびょぜい	・・・・ ノーラー硅	·	• • · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	、 條百	きいな	M)	• •	• •	• •	•	•	• •	•	• •	•	•	•	• •	•	•	(
4. MI	スエフシス向 立置と環境・ 周査の経緯・ 周査の結果・	火 いハハノ	' ノ Æ ・・・・		ル (/ ・・・	· 神/示	退助7	• •														• 1	n
10	間舎の経緯・																					• 1	. O
1	周査の結果・																					• 1	0
5. 鵜戸	三山別当墓地, 立置と環境・ 間査の経緯・ 関査の結果・	周辺調査																					
位	位置と環境・														•							• 2	21
司	周査の経緯・												•		•						•	• 2	21
副	周査の結果・			• • •			• •						•		•	• •	•		•	• •	•	• 2	12
	# 図 目 次 第1図 願成就寺納骨堂建設予定地 位置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・																						
第1回	阿成計去納品	9	完抽 荷	器図																			1
第2回	願成就与納得	9 主建成了 9 世建設予	定地 区	回凶 レンチM	口署回										•								2
第3図	ダイナム宮崎	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	設予定地	位置図		• • •																	3
第4図	ダイナム宮崎	5日南店建	設予定地	トレン	" ンチ位	置図																• 2	4
第5図	ダイナム宮崎	奇日南店建	設予定地	トレン	ンチ土	層図																• 4	4
第6図	ダイナム宮崎	奇日南店建	設予定地	ボーリ	リング	柱状图	☑ •										•		•		•	• (ô
第7図	サンキョウ約	氏工株式会	社倉庫建	設予定均	也 位	置図	• •						•		•		•		•		•	• ′	7
第9図	サンキョウ約	氏工株式会	社倉庫建	設予定均	也 ト	・レンラ	チ十層	断面	i図				•						•			• 8	8
第10図	MRT ラジス			位置図	· · ·	• • •	• •	• •	• •	• •	• •	• •	•	• •	•	• •	•	•	•		•	• 1	. 0
第11図	MRTラジス			トレンラ	ナ位置	i図・	· ·	• •	• •	• •	• •	• •	•	• •	•	• •	•	•	•	• •	•	• 1	.1
第12図 第13図	MRTラジス MPTラジス			トレンラ	ナ土虐 エエ屋		図そり)]	• •				•		•				•		•	• 1	.2
弗13凶 第14図	MRTラジス 鵜戸山別当暑			トレノン	厂工ル	川川山	当てり	14	• •		• •	• •	•		•				•		•	• 1	.3) 1
第14凶 第15図	物厂 山 別 ヨ 巻	E地PU妈 E地和器团		山						· ·					•		•			•	•	• 2	1، در
第16図	鵜戸山別当 鵜戸山別当 鵜戸山別当	支地用订調	杏 位置	図 (坩-	/-)																	• 2	, Z) 9
NITOE	7M/ LU/J'] =12	☆≠57号 X之即归		△ (3)/A)		•			-	-	·	·	•	-							-	2	, 4
					[3	図 版	,曰	次	7														
半頭 カニ	ラー・・・・				<u>ڪ</u> ر		, <u>ப</u>	• • • •									, 1	白一	144 I	口巾	台市	T =	与
付明ガラ	, – • • •			• • •	• • •		• •	•	• •	• •	• •	• •	•	• •	•	• •	• 邾	お尸	地		比全	子』	1
図版 1	願 成 就 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	骨堂建設予	定地ト	レンチョ	- 景分																	. :	2
図版 2	ダイナム宮崎	奇日南店建	設予定地	トレン	ンチ調	查状泡	元 •														•	• [ō
図版 3	サンキョウ約	氏工株式会	社倉庫建	設予定均	也卜	レンラ	戶調查	状沥					•		•				•		•	. (Э
図版 4	MRTラジス	上局外建設	予定地	トレンラ	チ調査	状況を	その1	•					•		•		•		•		•	• 1	. 4
図版 5	MRTラジス	一局外建設	予定地	トレンラ	F調査	状況を	その2	•	• •	• •			•		•	• •	•	•	•		•	• 1	. 5
図版 6	MRTラジス	局外建設	予定地	トレンラ	F調査	状況を	その3	•	• •	• •			•		•	• •	•	•	•	• •	•	• 1	. 6
図版 7	MRT ラジス	「局外建設	予定地	トレンラ	ト調査	状況を	との 4	•	• •	• •	• •	• •	•	• •	•	• •	•	•	٠	• •	•	• 1	.7
凶服と	MKIDVA	同外建設	ア正地 ヱ宍艸	トレンラ	上調金	:	このち	•	• •	• •		• •	•	• •	•		•		•	• •	•	• 1	.8
図版 10	MR T ランス) 同外建設 計昌が油部	ア疋地 予定地	トレンプ	厂調道 チ調オ	仏代で	こいり	•	• •		• •	• •	•	• •	•		•		•		•	• 1	.9
図版11	離石山団 地石山団	1 月21年段 5 抽 国 汨 囲		トレノ フ	・調宜	1.1八/冗~	- V) (•				•		•		•	• 2)); e (
	7個/ 山川 二型	西地/可处酮	且1八亿				•	•	•	•	•	•	•	•	-	•	• '	•	•	•	•	- 2	ر,

願成就寺納骨堂建設予定地 (談義所遺跡)

〔位置と環境〕

願成就寺納骨堂建設予定地は、日南市飫肥一丁目8401-イ-2の願成就寺境内南西部に位置する。この地点は周知の埋蔵文化財包蔵地番号302の談義所遺跡内であり、遺構、遺物が出土する可能性が高いと予想された。

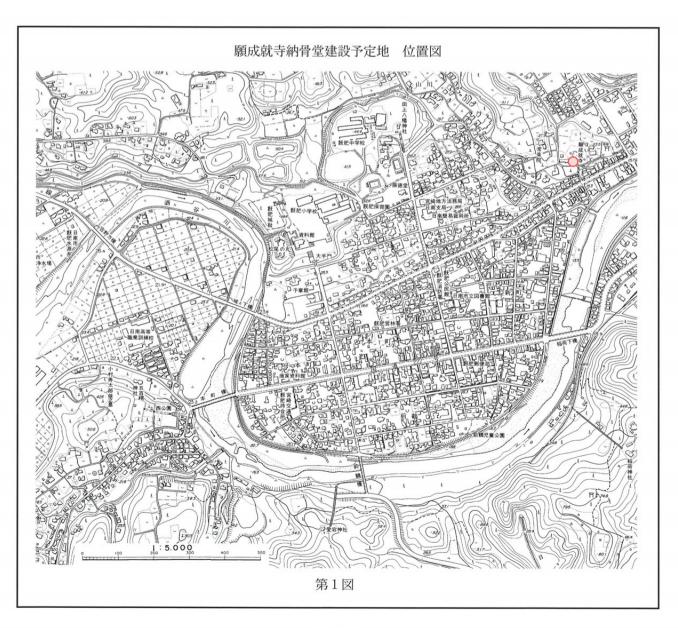
願成就寺の立地するシラス台地は、飫肥城の東に位置しており、室町時代には日向安国寺が建立されるなど、古くから開発された場所である。現在は、願成就寺や常楽院と数棟の民家を除けば、墓地や畑として使用されている。

〔調査の経緯〕

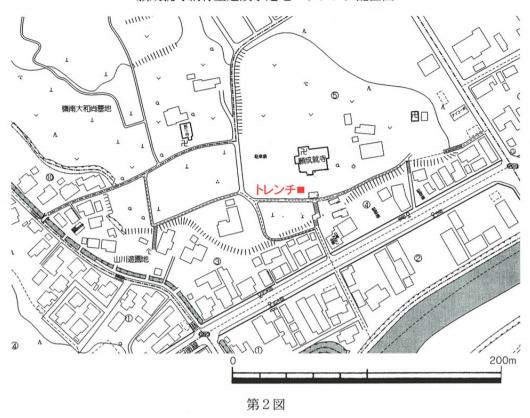
願成就寺から、納骨堂を建設する旨の連絡があったため、現地で協議した結果、2m×2m程度の小規模なものであることから、掘削範囲のみを調査対象とした。当該地は樹木が数本あったことから掘削用重機を使用して樹木の除去と表土の掘削を行った。その後は人力で掘り下げた。

〔調査の結果〕

今回の調査の結果、撹乱土坑と土器小片が確認されたがいずれも時期を特定できなかった。



願成就寺納骨堂建設予定地 トレンチ配置図



願成就寺納骨堂建設予定地 トレンチ全景



図版 1

ダイナム宮崎日南店建設予定地

〔位置と環境〕

ダイナム宮崎日南店建設予定地は、日南市大字平野字元屋敷2686番外の広渡川と酒谷川に挟まれた水田地帯である。現状では周知の遺跡はないが、王子製紙日南工場に接した地区で、東側には弥生時代後期の影平遺跡が立地する独立丘陵がある。

〔調査の経緯〕

株式会社ダイナム(本社東京)が開発予定面積16,828.07㎡の遊技場建設を予定したため、開発に先立って埋蔵文化財の有無について試掘調査を実施した。このうち、建物建設用地(1,621.90㎡)を中心に、掘削用重機を使用して地下の土層堆積状況と、遺構、遺物の有無を調査した。

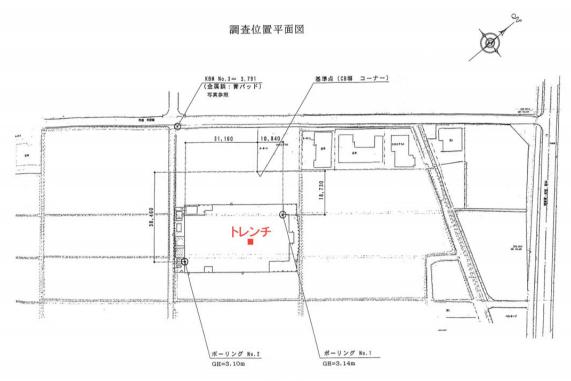
〔調査の結果〕

確認調査の結果、遺構、遺物とも確認されなかった。従来、日南市街地の平野部にはほとんど遺跡の立地が知られていない。このことがたまたま遺跡が発見されていないだけなのか、既存の調査が及ばない深度に遺跡があるのかは不明である。今回の調査でも、シルト質の土層が厚く堆積しており、遺跡の存在は確認できなかった。

しかし、当該地のボーリングデータによると、7.55m地下にシラス層が認められ、台地上とは大きく異なり、 平野部の土層堆積が著しいこと、すなわち、平野部では深い場所にも遺跡が立地する可能性を示している。

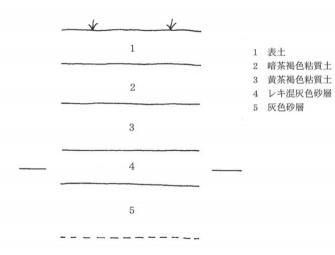


ダイナム宮崎日南店建設予定地 トレンチ位置図



第4図

ダイナム宮崎日南店建設予定地 トレンチ土層図





ダイナム宮崎日南店建設予定地 トレンチ調査状況





図版 2

ダイナム宮崎日南店建設予定地 ボーリング柱状図

ボーリング柱状図

					調	查	Ē	名	3 ダイナム(·	仮称	;) 7	宮月	脩	日南ノ	古親	斤樂	I	事地	質調	查				ボー	リン	グNo.		П	П	T	П	П	П
					事業	ŧ.	工具	14	, 1															-	シ	- F	l l	LL				Ш	
ボー	リン	グ名	Τ			0.			調査位置			Е	1	市大	字	平	野	字元層	動 2	686	番月	 也外			1		緯						$\overline{}$
発	主模	. 関	+-											調査	朝間	Ψ	成	17年	8月	17日	~	17年	8月	18日	東]	経						
調査	業	者名			(相) ショ 質話 (o				2813) 主任技師 椎	開	幸	: 徒	 ij	現代 理	場	1,	反 3	東 大	悟	監定	ア者	福日	日前	光		に り:			福田	8	武	光	٦
孔	口 杉	原高	3	. 14m	角	180°		Τ:		zk.	本。.		使用	試錐			ŧ	·田Y				텦	ハンマ 落下月	/— 音	1,59			プ・	– у	_	法		
総	屈道	進 長		0.00m	度	下)-9'		方 北 0 地 270 東 勾 向 180 南 配	鉛直水	÷ °		n機種	エン	ジン	\vdash	+	ンマ	— N F	A D -	9 K 3	型 型	ポン				吉田	G	P ~	- 5	型		
					1 /2	1.0			180 M HE	90			1=			-l																	
標	標	層	深	柱	±	色	相	相	記			孔内				榜	ž.	準 貫	入	試	験			原	-				試料	r 採		室村	掘
					質		対	対			1	m	滐	10 cmご 打撃回	との 1数	打擊回			N		値			深	はお		験 : び結!		深	弒	採言	1 44	進
尺	髙	厚	度	状	K		密	1911			١.	m)	度		20	数/			-					度	1			\	度	料	取	~	月
							715	1)14)				測定		≀ ≀	₹	貫入														番	方	1	^
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	事			月日	(m)	10 20	30 (量 (cm)	0	1)	20	30	4	0 5	(m)	1			4	(m)	号	法	_	B
					砂質シ ルト	灰			表層は耕作土。深度1.40m年 近より砂分多くなる。	t l	1					3																	
1	1.44	1.70	1.7	EEE	ルト	褐						- 1	1.15	1 1		30	3	•		1	_												4
- 2	1.19	0.25	1.7	°.○°.	中砂	灰褐			少量のφ5~10㎜程度の礫が 点在する。		8	- 1	2.15	6 6		20 30	20	$\overline{}$	>	_	-			-									-
3				0 Q.							1	- 1	2.45 3.15	8 9		26				Λ													1
				: 0;					礫はφ5〜20mm程度の砂岩亜 円〜亜角礫主体で、最大φ5	0		- 1	3.45		П	30 20	26			$ \rangle$	•									Ì		1	
- 4				0000	砂礫	灰褐		. [円〜亜角礫主体で、最大 ¢ 5 m大である。 砂は中粒〜粗粒砂。 梁度4m付近にシルトを少量 壊む。				4.15	4 8	0 1	30	20			/												-	-
- 5				°. 6°,					除度4m付近にシルトを少量 挟む。			- 1	5.15	6 5		15	-		_/		-		~~~~	-									-
	-2.91	4.10	6.0	O								- 1	5.45	+			15		•											İ			
6	-3.56	0.65	6.7	5 000 0 000	砂質シ ルト	暗灰		į	所々で砂分を多く混入する。				6.15 6.60	1 1 15 30		2 45	1.3	<									*******						8
- 7					細砂	暗灰		ļ	粒子は均一である。				7.15	3 4		12 30	12		•					1								ŀ	17
- 8	-4.66	1.10	7.8							-			7.45 8.15	7 7		22	-		$\overline{}$		_												-
- 9													8.46	7 8		30 24	22			1													-
. 9					ラ	灰			粒子は細粒シラス主体。	**			9.15	<u> </u>	-	30	24			>													7
10					ス					四紀		- {	10.15	5 7	10	20 30	20			\bigvee	+											İ	-
- 11	-7.96	3.30	11.1									- 1	10.45 11.15	7 7	9	23				Λ	_									-			-
												- 1	11.45	-		30 21	23			1													and and
12					細砂	暗灰		1	深度12.30m付近では中砂を 映み、深度13m付近より貝覧 片を混入する。	ŧ		- [12.15	6 6		/ 1	21			+				1									
- 13									斤を混入する。		1	- 1	13.15	8 7		23 30	22			44-				-	1								-
- 14	-10.56	2.60	13.7	0	2.0.1	暗			Dhad emetro artists	-		- 1	13.45 14.15	3 2		10	-		/														-
	-11.66	1.10	14.8	0	混り砂	灰			砂は細粒〜中粒砂。 少量の貝殻片を混入する。			1	14.45	-		-	10	/												The state of the s			
15		1							影とない人もクノギュー・				15.15	2 2		$\frac{7}{30}$	7	-/		1	\dashv			1			******						4
16					シル	昨灰			所々で砂分を多く混入する。 深度16m付近では貝殻片を混 入する。	4		- 1	16.15	2 1		5 30	5	_/		-	+			-						-			-
- 17	-13.76	2.10	16.9	0	<u>۱</u>	_	Ш						16.45	5 6		19	°																1
11							1 1	1			1	- 1	17.15		\dashv		19		7														-
18					細砂	暗灰			架度18m付近に少量の貝殻片 や腐植物を混入する。	11		- 1	18.15	5 7		20 30	20			+	+			1	1								+
19		-				~			1 100 100 07 C 100/1 7 '0/0		-	- 1	18.45 19.15	2 4		12	-		/	-				-									-
	-16.56 -16.86	2.80	19.7	0	砂質シ	n#	H	_	77	41		ł	19,45		1 1	30 6	12	}	y														8/18
- 20	10.00	1	20.0		W.F.	暗灰	-		所々で砂分を多く混入する。	丌	- 1	- 1	20.15	2 2	-	30	6				\top											T	
		L			L		\Box				Ŀ									<u></u>				<u></u>	Ш			\perp					

第6図

サンキョウ紙工株式会社倉庫建設予定地 (古奥遺跡)

〔位置と環境〕

サンキョウ紙工株式会社倉庫建設予定地は、日南市梅ヶ浜5828-24、5862-7に位置する。この地点は周知の埋蔵文化財包蔵地番号507の古奥遺跡内であり、遺構、遺物が出土する可能性が高いと予想された。

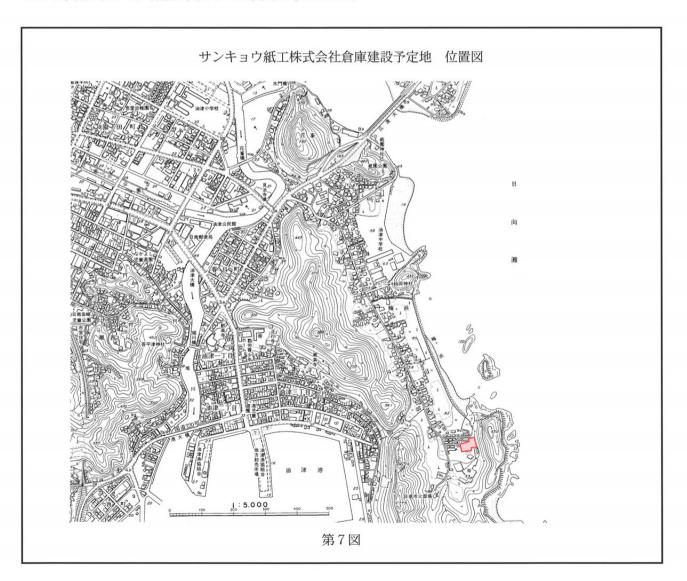
古奥遺跡は、過去に、梅ヶ浜地区内の道路側溝工事において、平安時代と考えられる布目圧痕土器(製塩土器)が出土しており、当該地においても関連の遺構、遺物の出土が予想された。

〔調査の経緯〕

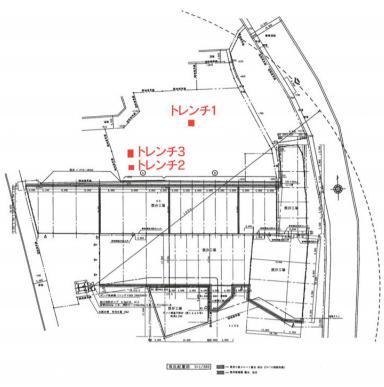
古奥遺跡内において、有限会社サンキョウから倉庫増設の確認申請があったため、工事に先立ち試掘調査を実施することとなった。調査対象地の面積は、6,695.5㎡で、以前は市営住宅が建っていたが、現状は取り壊されており、平地となっていた。試掘調査は、倉庫柱の基礎部分を中心にトレンチを設定して、確認調査を実施することとした。

〔調査の結果〕

トレンチ1からは遺構・遺物ともに検出されなかったが、トレンチ2、3からは土師器片が少量出土した。いずれも摩耗が著しく、谷筋に向かっての流入と考えられる。

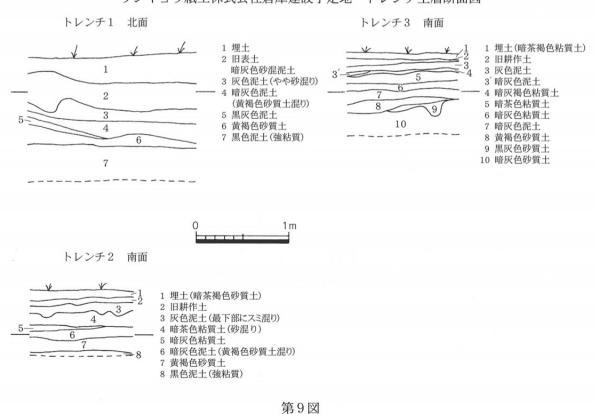


サンキョウ紙工株式会社倉庫建設予定地 トレンチ位置図

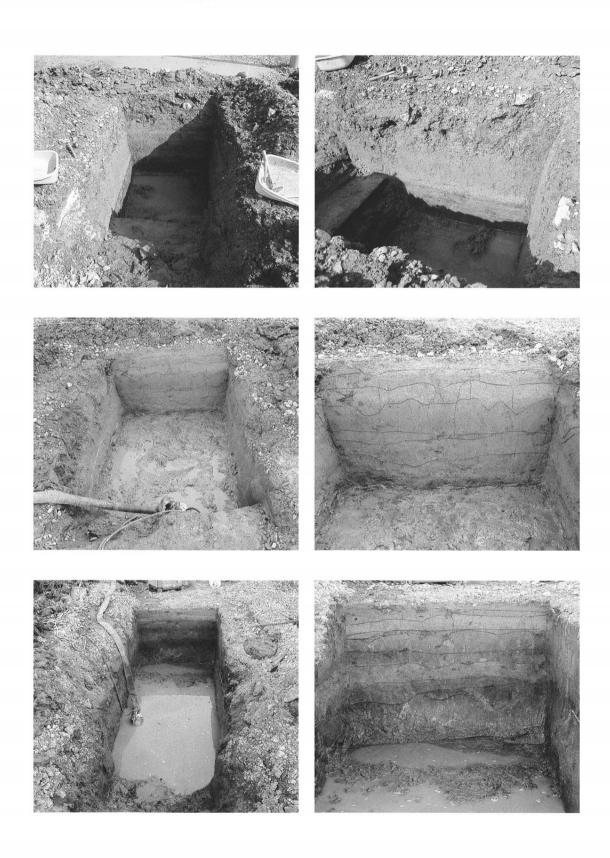


第8図

サンキョウ紙工株式会社倉庫建設予定地 トレンチ土層断面図



サンキョウ紙工株式会社倉庫建設予定地 トレンチ調査状況



図版 3

MRTラジオ局及びメガソーラー建設予定地 (八幡原遺跡)

〔位置と環境〕

MRTラジオ局建設予定地、ならびに太陽光発電大規模施設建設予定地は、日南市大字楠原字奥原及び字八幡原に位置する。かつては日南ゴルフセンターがあったが、現在は市の所有となっている。

この地点は周知の埋蔵文化財包蔵地番号315の八幡原遺跡内で、近接して原坂ノ上遺跡があり、多数の遺物が散布することから、遺構、遺物が出土する可能性が高いと予想された。

現況は、酒谷川右岸のシラス台地上のゴルフ場跡地である。

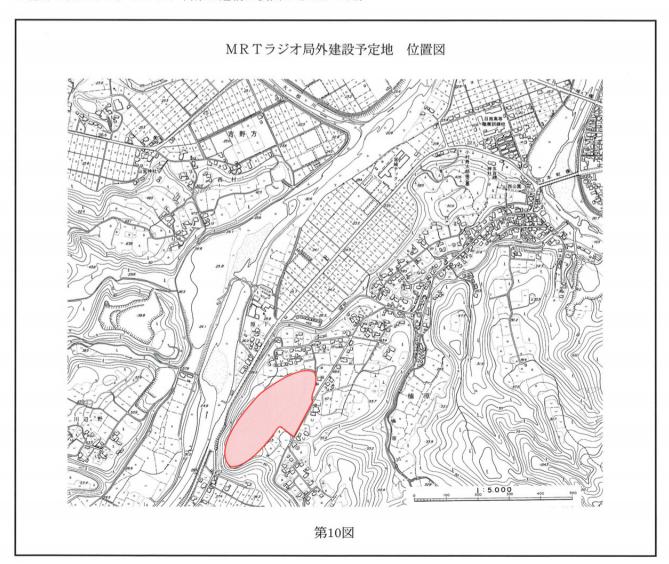
[調査の経緯]

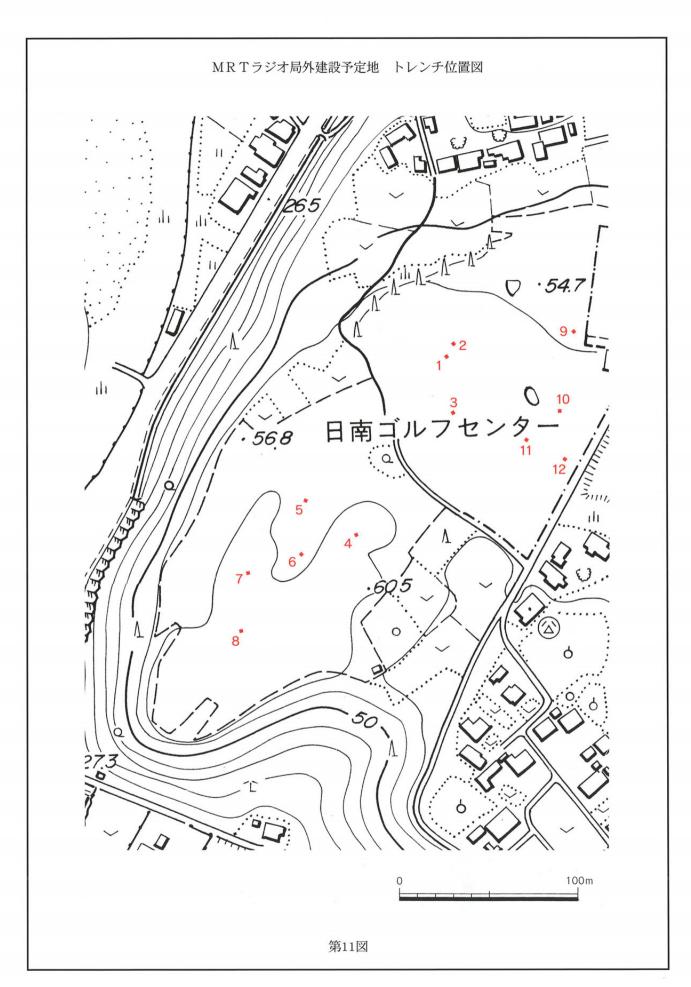
調査対象地の面積は、MRTラジオ局建設予定地が6,079㎡、太陽光発電大規模施設建設予定地は15,000㎡である。以前はゴルフ場として利用されていたため、表土が大きく削られている場所が多いと予想されるため、今回の調査では、調査対象地全域にトレンチを設定して、遺構、遺物の有無を確認した。

試掘調査は、平成18年2月14日 ~ 3 月3日までの間で実施した。調査方法は、対象地内にそれぞれ1.5m $\times 2.0$ mのトレンチを12ヶ所設定し、遺構、遺物の検出に努めた。

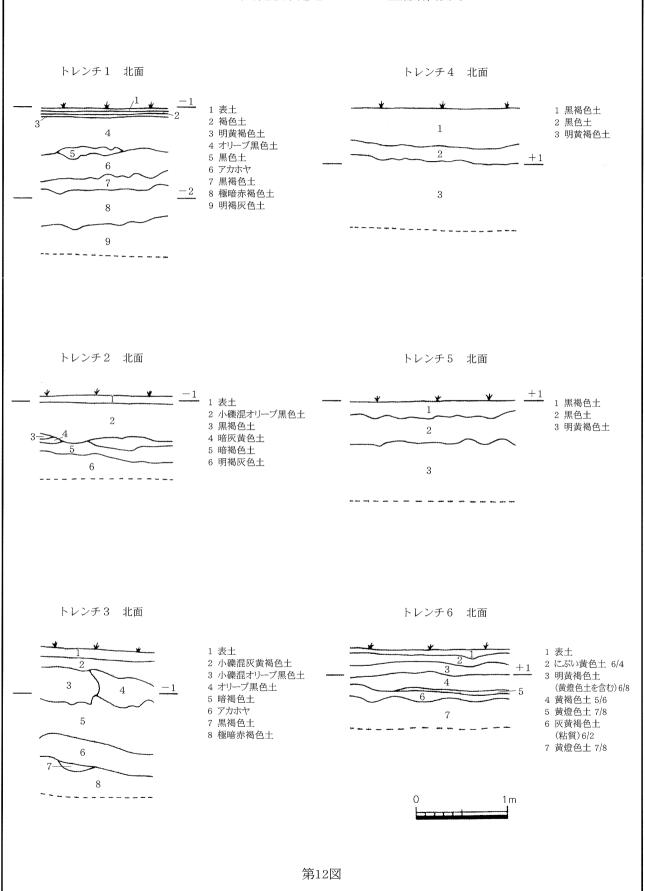
〔調査の結果〕

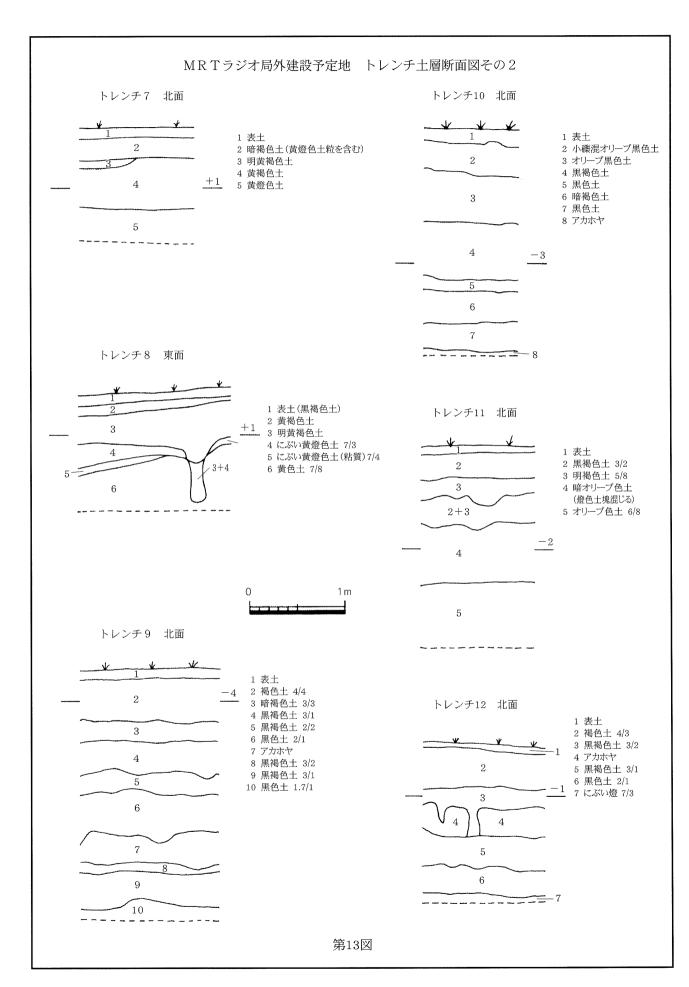
今回の調査の結果、太陽光発電大規模施設建設予定地内のトレンチ4からトレンチ8までは表土以下、アカホヤ層より下層までがすでに削平されていた。一方、MRTラジオ局建設予定地においては、比較的原状を保っていると見られ、トレンチ9から縄文後期のものと思われる土器が確認された外、トレンチ12からも少量であるが土器片が出土した。しかし、明確な遺構は検出できなかった。





MRTラジオ局外建設予定地 トレンチ土層断面図その1







トレンチ1



トレンチ2

図版 4



トレンチ3

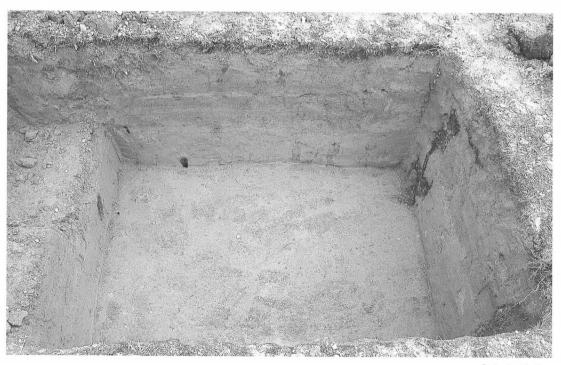


トレンチ4

図版 5



トレンチ5

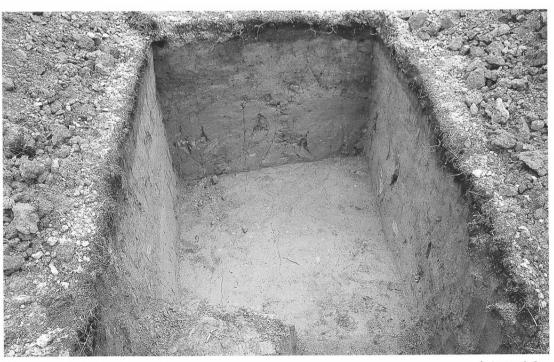


トレンチ6

図版 6

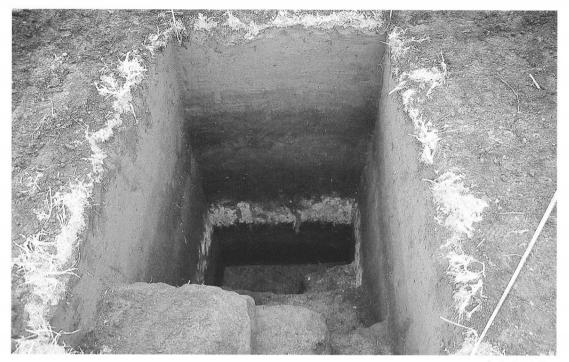


トレンチ7



トレンチ8

図版 7

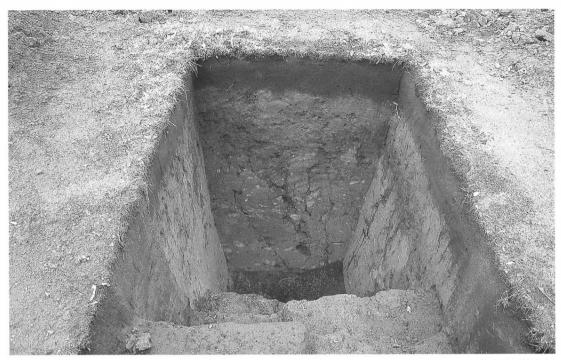


トレンチ9



トレンチ10

図版 8



トレンチ11



トレンチ12

図版 9



作業状況



作業状況

図版 10

鵜戸山別当墓地周辺調査

〔位置と環境〕

市指定史跡の鵜戸山別当墓地は、鵜戸神宮がある鵜戸崎のうち、市指定史跡の鵜戸山八丁坂の最高所から南へ入った標高約100mの日向灘を見下ろす尾根部に位置する。この八丁坂の最高所から鵜戸山別当墓地にかけては、鵜戸山仁王護国寺関係者や門前町、さらには鵜戸地区住民の墓地として使用されていたが、明治に入ってからの廃仏毀釈や鵜戸地区の墓地移転に伴い長らく放置されて、現状は林野となっている。

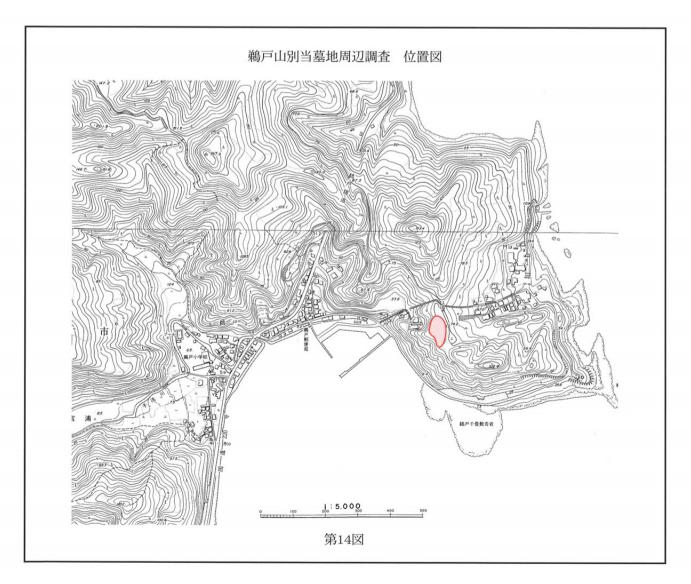
しかしながら、古代から信仰の地として栄え、中世以降は南九州でも有数の修験道場であった鵜戸山の墓地として、遺構、遺物が出土する可能性が高いと予想された。

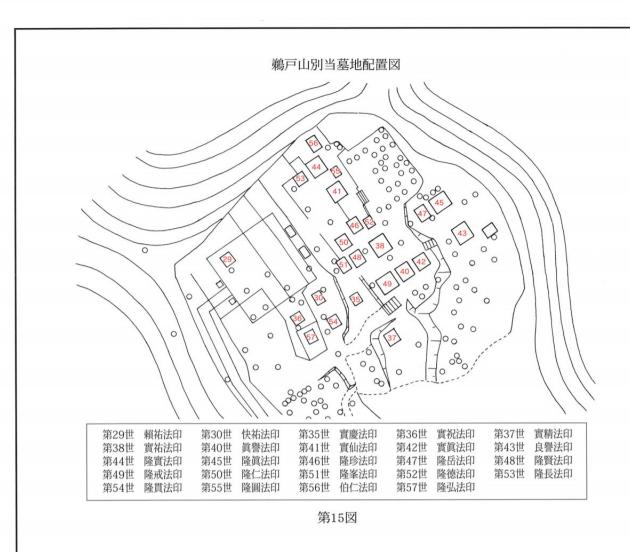
〔調査の経緯〕

近年、当該地に携帯電話基地や防災無線基地等が相次いで建設され、その際、多くの墓石が動かされている状況から、墓地全体の範囲と地表面から観察できる紀年銘の読み取りから墓地の全体像をおおまかに把握することを目的として、樹木の伐採と墓石の検出を行うこととした。

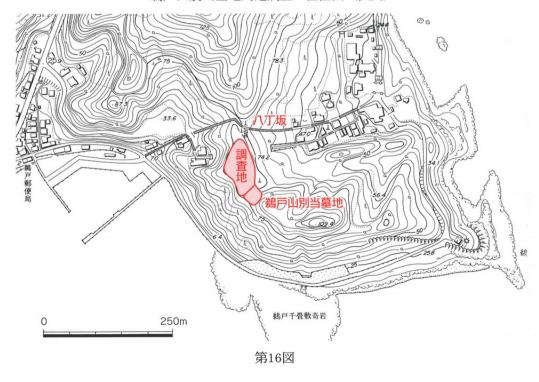
〔調査の結果〕

調査の結果、八丁坂の最高所から鵜戸山別当墓地にかけては、墓石から判断する限りにおいて、江戸時代全期を通じて、多数の墓が集積されている。地下遺構については今回未調査であるが、中世に遡る墓も含まれていることは確実である。したがって、当地方の葬送儀礼を研究する上で重要な遺跡であり、今後の調査研究が待たれる。





鵜戸山別当墓地周辺調査 位置図(拡大)



鵜戸山別当墓地周辺調査状況



着手前



調査状況

図版11

日南市埋蔵文化財調査報告書 第21集

平成17年度 日南市内遺跡発掘調査概報

2006年3月

編集発行 宮崎県日南市教育委員会

〒887-8585 日南市中央通1丁目1番地1 電 話 0987-31-1145

印刷 タイプオフセット

〒889-2533 日南市星倉2丁目1番地10 TEL0987-25-0162 FAX0987-25-1097